



2009年2月5日

**実績のあるデザインチーム：エイドリアン・ファン・ホーイドンク、
BMW グループ、デザイン部門統括責任者に就任**

**「未来に向けた明確な造形美への道程」
BMW グループのデザイン哲学はホーイドンクの下でさらなる発展へ**

ミュンヘン発：BMW グループのデザインは、これまで約 17 年にわたって、BMW グループ・デザイン部門統括責任者のクリストファー・E・バングルとエイドリアン・ファン・ホーイドンクの緊密な協力関係により形作られてきましたが、このほどバングルの後任としてホーイドンクの就任が決定しました。ホーイドンクは現在「ブランド・デザインスタジオ・フォー・BMW オートモビル」所長を務めています。BMW 開発担当取締役のクラウス・ドレーガーは次のように話しています。「バングルは BMW グループ各ブランドのアイデンティティに強い影響を残しました。バングルの貢献は BMW の繁栄において非常に重要なものです。彼は各デザインチームとともに未来に向けた明確な造形美への道筋を示しました。」さらにドレーガーは、現在の幅広いラインアップと、年内あるいは数年内に導入予定の新しい車両コンセプトのおかげで、BMW グループはデザイン性において「非常に優位な状態にある」と述べています。また、ホーイドンクは技術とデザイン、伝統と革新に対する情熱をバングルと共有しているので、同氏の BMW グループ・デザイン部門統括責任者としての今後の活躍に期待している、と話しています。さらに、ホーイドンクが後任に就任することにより、BMW グループ各ブランドに一貫して反映されるデザイン哲学を引き続き強化する方針を固めています。なお、バングルは今後、BMW グループとの強いつながりを維持しながら、自動車業界の枠を超えたデザイン関連の取り組みを進めることを第二の人生の目標としています。

BMW グループではこれまでバングルの下で、ニューモデルやコンセプトカーのデザインを数多く開発してきました。バングル率いる各デザインチームは、BMW 3、5、7 シリーズに加え、BMW Z3、BMW Z4、BMW X5、BMW Z8、BMW X3、新型 BMW 6 シリーズ、BMW X6、BMW 1 シリーズなど、幅広いモデルを担当してきました。また、バングルの下で進められた他の開発プロジェクトとして、MINI やロールスロイスのニューモデル、多くの革新的なモーターサイクル・コンセプトなどが挙げられます。さらにバングルは在任中、子会社のコンサルティング会社、BMW グループ・デザインワークス USA を設立する上でも中心的な役割を果たしました。これにより同社は北米、ミュンヘン、シンガポールの 3 ヶ所に拠点を構え、世界各地の多様な業種の一流ブランドや企業を顧客とするデザイン会社となったのです。

BMW グループの 3 ブランドが提供する多くの製品は、その傑出したデザイン品質により、世界的に名高い賞を獲得しています。「バングルはつねに特別な才能を発揮して各チームの陣頭指揮をとり、BMW グループ各ブランドのアイデンティティや独自のイメージを強化し、革新的なデザインを生み出す刺激を与えてきました。」(ドレーガー取締役)。バングルは、これま

でに応用技術やデザインで 10 件以上の特許を取得しました。さらに、バンブルの指導の下で BMW グループ・デザイン部門に認められた特許が 100 件ほどありますが、こうした特許はすべて彼の豊かな創造力と革新力を示すものです。

バンブルは米国生れの 52 歳です。1992 年 10 月より BMW グループ・デザイン部門統括責任者を務めてきました。ウィスコンシン大学およびパサデナのアートセンターカレッジ・オブ・デザイン卒業後、アダムオペル社(本社:ドイツ・リュッセルスハイム)に入社。1985 年、フィアットに移り、1992 年、同社のデザイン部門、チェントロスティーレのディレクターに就任しますが、そのすぐ後にフィアットを退社、ミュンヘンに移りました。

BMW グループでバンブルの右腕となったのが、次期デザイン部門統括責任者に決定したエイドリアン・ファン・ホーイドンクです。バンブルはホーイドンクについて「自動車業界における真のプロフェッショナル」と評した上で、「ホーイドンクが力を注いだ、多くの強力なデザイン戦略は今後も発展・進化していくでしょう」と述べています。

エイドリアン・ファン・ホーイドンクは現在 44 歳です。BMW グループ、デザイン部門統括責任者に就任後 BMW、ロールスロイス、MINI の 3 ブランドのデザイン開発を担当します。オランダ生れの彼はデルフト・ポリテクニック大学で学んだのち、1992 年までスイス・ヴェイのアートセンター・ヨーロッパで学業を続けました。その後ミュンヘンに移り、BMW にデザイナーとして入社。2000 年、米カリフォルニア州の BMW グループ子会社で、国際的に名高いデザイン会社、デザインワークス USA に出向。同社では 2001 年から 2004 年にかけてディレクターを務めました。その後、バンブルの下で「ブランド・デザインスタジオ・フォー・BMW オートモビル」所長に就任しました。

BMW 6 シリーズおよび 7 シリーズはもちろん、コンセプトカー Z9、BMW コンセプト CS(2007 年発表)、M1 オマージュスタディには、ホーイドンクのデザインへの影響がはっきり示されています。ホーイドンクは 1997 年、MINI のショーカー、ACV 30 のデザインを手がけたほか、最近ではチームとともに新型 BMW 7 シリーズ、Z4、それに 2009 年 3 月のジュネーブ・モーターショーで発表予定のコンセプト・プログレッシブアクティビティ・セダンのデザインも担当しています。

ホーイドンクは次のように話しています。「この新しいポストを受け継ぐことは大変光栄であり、とても嬉しく思います。BMW、MINI、ロールスロイスはそれぞれのセグメントで最高の車やモーターサイクルを持つブランドであり、私もこれらのブランドの今後の発展に貢献できるよう力を尽くしていきます。」また、今後の抱負については、「確かに課題はありますが、BMW が強力なエンジニアリングと熱意あふれる優秀なデザインチームを備えていることはこれまでどおりと変わりません。私はこのチームとともに、すぐれて洗練された、そしてきわめて魅力的なコンセプトを生み出していけると確信しています」と述べています。